



# かなる Canal

vol.03  
July

Canalは英語で運河という意味



「おたる潮まつり」

## 小樽掖済会病院の基本理念

# 優しさと責任

患者さんに優しく接し  
責任を持って診療に当たります

## ◆ 目次

- 1・2 病院長のひとり言
- 3・4 手術室チームの紹介
- 5 術前支援画像 大腸3D CT検査
- 6 病院薬剤師のお仕事

TAKE FREE(無料) ご自由にお持ちください。



# 病院長のひとり言

～人生は山あり谷あり、だから面白い～

崩御に伴う改元ではないからだろうか、新時代を祝福するおめでたい気持ちがあふれる中、5月1日に令和元年が始まった。

我々は平成時代に、北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災、北海道東部地震などの大地震のほか有珠山噴火や台風がもたらす集中豪雨による土砂崩れや河川の氾濫など、想定を超える数多くの記録的災害を経験してしまった。令和の時代は少しでもその様な天災が起こらない穏やかな時代になるようお願いしたいものだが、それはさておき、前号で紹介した趣味の続き話をしよう。何のことか分からない読者は前号を見てね。



病院長 向谷 充宏

飼育していた海水魚を里親さんをお願いして、小樽掖済会病院に赴任した私は、魚を飼育するという趣味から、魚を捌いて美味しく食べるという180度の路線変更を執行したのである。「あら極端！えっ、理由？」そうだね、敢えて言うなら「生でも、煮付けても、焼いても、メても、美味しいから」、「職場が寿司屋通りにあるから」、「新鮮な海産物が豊富だから」、…(笑)



誰が言ったか、言っていないか、知らないが「男の料理は形から」ということで函館時代から使っていた各種の包丁、砥石、まな板などの調理器具については一層の充実を図るところからスタートし(大爆笑)、ひととおり準備が済んだところで、南樽市場、新南樽市場、三角市場、鱗友市場、中央市場を物色し、捌いていない生の魚を「わざわざ」買ってくるという暴挙。指導を受けた先生はネット動画の



ユーチューブ(YouTube)、魚の三枚おろし、ヒラメの五枚おろし、皮を引いたり、柵を作ったり、昆布メしたり、見よう見まねで試行錯誤。でもインターネットの世界では早朝だろうが深夜だろうが、いつでも魚の捌き方、包丁の研ぎ方、刺身の引き方、昆布メや酢メをプロの料理人が親切丁寧に教えてくれる、探せば何でも出てくる便利な世の中なのだ。



しかしながら、日本が世界に誇るヘルシーな魚食文化であっても物理学の鉄則であるエネルギー保存の法則から逃れる訳もなく、赴任後1年半で8<sup>kg</sup>近くの内臓脂肪と皮下脂肪を貯蔵してしまったのである。これを専門的に難解な解説をするならば、アインシュタインが提唱した特殊相対性理論における、質量はエネルギーの一形態であり、 $E=mc^2$ という式で表される、ということを実践したことになるのだ(意味不明だわ)。分かりやすく言い換えれば「そりゃ、そんだけ食べれば太るよね」ということである。



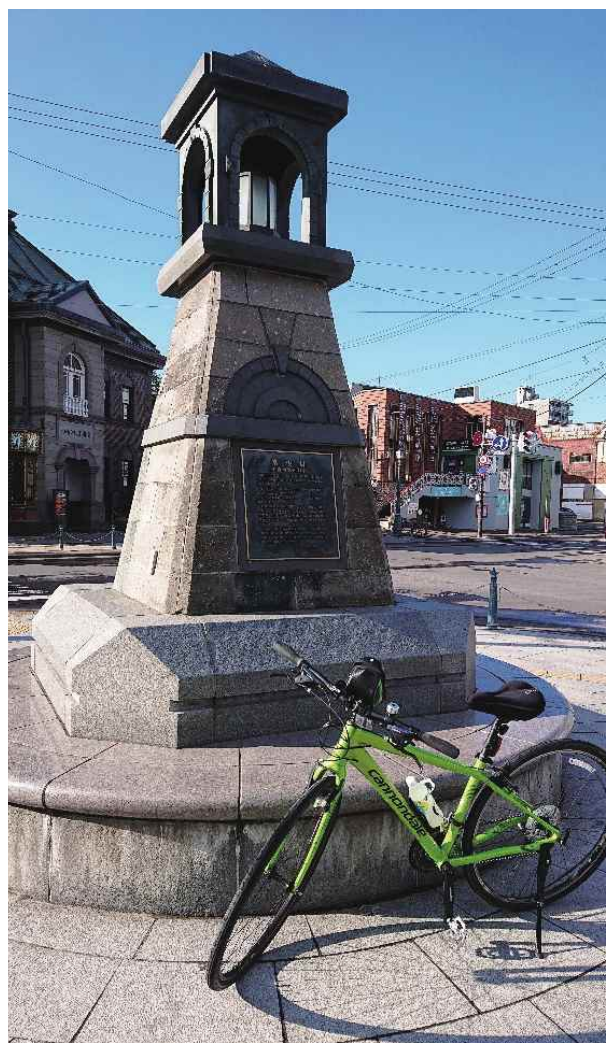
屁理屈は兎も角、さあ、どうする？ ダイエットするか？  
嫌だ！(心の声)

さて、医学の分野では、60歳を超えると徐々に基礎代謝が低下し、筋肉量が落ち、筋力の低下とともに、足腰が弱くなってしまふことが既に明らかになっているので、米や麺類などの炭水化物を控え目にして、筋肉の原料となるタンパク質が

不足しないように、魚を中心とした食事を摂取し、散歩など有酸素運動をしましょうということだが、もっと分かりやすい言葉で言い換えると、年をとると足腰が弱くなるから、魚や肉を食べて散歩しましょうよ、ってことなのだ。

平日は仕事もあるので散歩は出来ないが(歩いて通勤しろよ)、週末は天気さえ良ければ小樽運河や観光地巡りの散歩、調子が良ければ一時間ほどサイクリングをするようにしている。日中は観光客も多いし、どうやって避けたら良いのか分かりにくい人力車も走っているので、自転車に乗るのは人気の無い早朝に限定される。横を猛スピードで走り抜けるオートバイ、自動車やトラックに恐怖を感じるが、ドライバー目線で見れば「おいおい、オッチャン、何フラフラ走ってんだ。邪魔だし、危ねえぞ!!」って感じだろうなあ。

さて、我が身をもって見事ダイエットに成功し、患者さんに分かりやすく説得力ある食生活習慣を指導できるのか(言うは易く行うは難し)乞うご期待！



# 手術室チームの紹介

## PART1 看護師

当院の手術室では、主に消化器疾患の外科手術を行っています。年間手術件数は500～600件程で、後志管内でもトップクラスの消化器疾患手術実績です。近年、患者さんにとって低侵襲である腹腔鏡手術が増加しています。

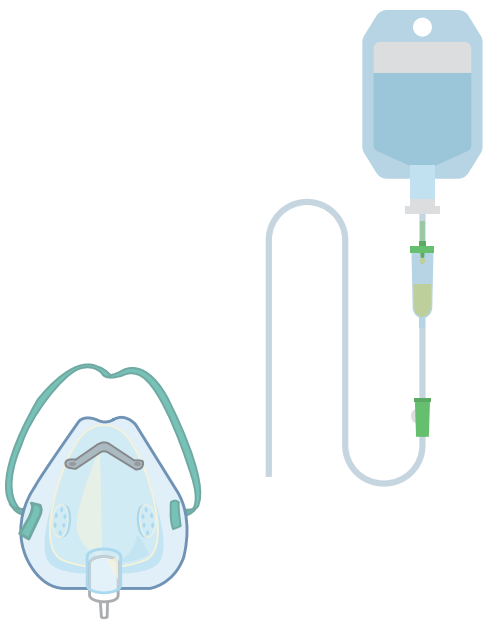
当院の昨年度の腹腔鏡手術は大腸癌、胃癌、胆のう炎、虫垂炎など196件でした。腹腔鏡手術は開腹手術と比較すると非常に小さな創で済むために患者さんの術後の痛みが少ないことと、創が小さいことで回復も早いことが特徴です。その他にも、膵癌や肝臓癌手術、肝臓癌に対する肝動脈化学塞栓療法(TACE)、乳癌や脂肪腫や粉瘤などの日帰り手術も行っています。



手術を行う際には、たくさんのスタッフが携わっています。

執刀医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士がチームとなり、確実な知識と技術をもって安全・円滑・迅速に手術が行えるよう、それぞれが専門性の高い仕事を行い役割を果たしています。

また、手術室看護師は患者さんが安心して手術を受けていただけるよう、術前・術後訪問を行い患者さんの声を尊重し、不安が軽減できるよう看護を行っています。



大腸腹腔鏡手術の様子





## PART2 臨床工学技士



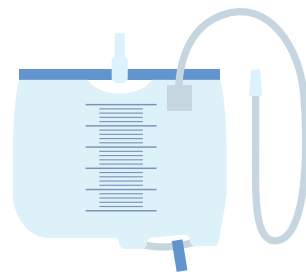
近年、医療が進歩している中、医療機器もまた進歩してきています。当院では高度化・複雑化した医療機器を正しく操作・保守管理をするための専門家として臨床工学技士が在籍しております。

特に、手術室では腹腔鏡手術をはじめ手術を受けるために必要不可欠な麻酔器や電気メスといった医療機器がたくさんあります。それらの機器を安全に使用できるように、医師や看護師とチームを組んで、機器の操作や保守・点検のほか治療の補助にあっております。

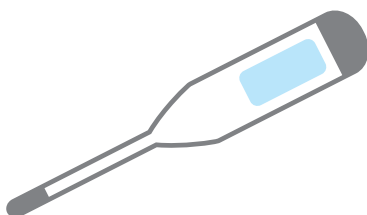
最近では、安全・円滑・迅速に手術が行えるよう、医師のサポートとして腹腔鏡カメラを操作するスコピストや、看護師のサポートとして手術で使用する道具を準備・メンテナンスをする器械出しも積極的に携わっております。機器のトラブル時に対応できるように配置されており、今後も活躍できる場を増やし、患者さんに安全・安心な手術を受けていただけるよう、日々、研鑽しております。



手術医療機器



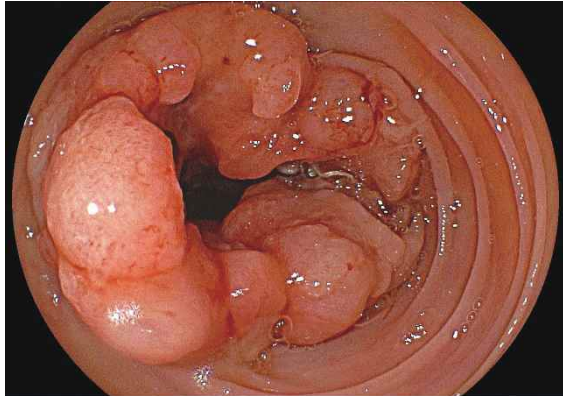
スコピストが医師をサポートしている様子



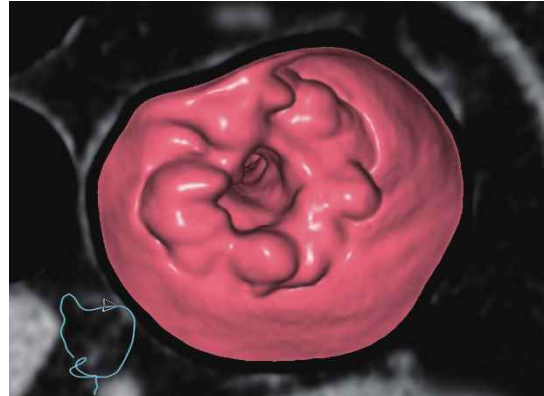
# 術前支援画像 大腸3D CT検査

診療放射線部

当院では、スクリーニングだけでなく、術前検査として3DCT検査を行っています。



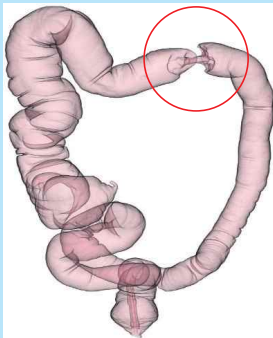
内視鏡画像



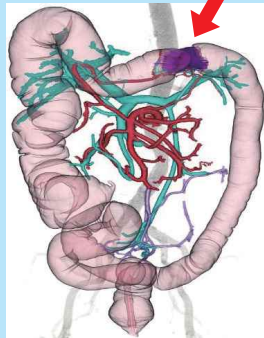
CTを用いた仮想内視鏡像

炭酸ガスを用いたCT撮影で、カメラを挿入せずともまるで内視鏡のような画像（仮想内視鏡像）が得られます。

また、造影剤を用いて血管の3次元画像を作成します

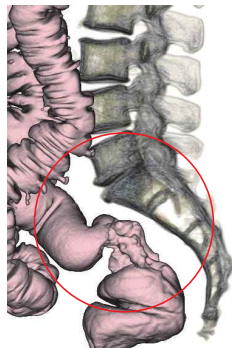
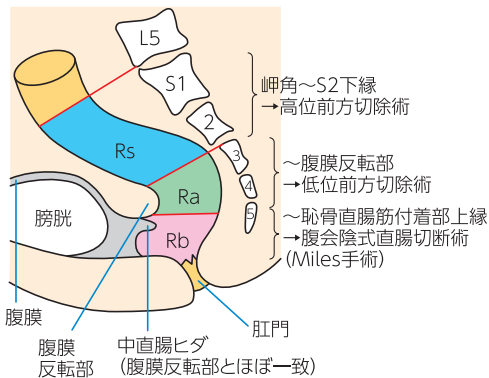


エアイメージ



造影剤による血管+腫瘍の描出

大腸のどこに癌があるの一目瞭然でわかります。また腫瘍、血管が可視化されることで、腫瘍に向かっていく血管の走行がわかり、腫瘍と血管の関係や動静脈の位置関係がよくわかります。手術支援として有効な画像です。



背骨と直腸癌の位置関係

椎体(背骨)と直腸癌の位置関係を術前支援画像として作成しています。直腸は上部からRs,Ra,Rbの3つに区別されRsとRaは第2仙骨下縁、RaとRbは腹膜反転部で区別されます。椎体は、癌が直腸区分のどの位置に存在するかの目安になり人工肛門になるかどうかの術式の判断に役立っています。

これからもチーム医療の一員として役立つ画像をお届けします



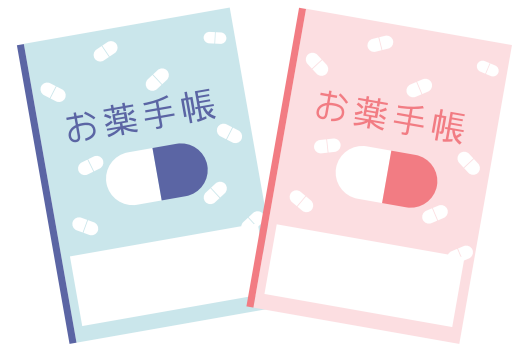
# 病院薬剤師のお仕事 ～病棟薬剤師業務～

薬 剤 部

当院では、病棟に専任薬剤師を配置し  
患者さんに安全かつ適正に薬を使用していただけるよう  
医師や看護師をはじめとする多くの部署と連携して次のような業務を行っています。

## 患者さんの入院時

持参されたおくすり(市販薬や健康食品等)や、おくすり手帳の内容を確認しています。また服薬の状況も確認しています。おくすりによるアレルギー歴や副作用歴の確認を行っています。



## 医師の処方箋に基づき患者さんへおくすりをお渡しする

患者さんの症状・状態・年齢・性別・体格・腎臓や肝臓の機能などを確認し、適切な量なのか、適切な飲み方なのかを判断しています。おくすり同士の飲み合わせ、食べ物による影響が無いか、確認を行い、疑問がある場合には、必ず医師に問い合わせを行なっています。すべてを確認した後に、おくすりをお渡ししています。その際、効果や飲み方(使用方法)、起こり得る副作用やその対処法について、説明を行います。おくすりを飲み始めたら、効果が現れているか、副作用症状が無いかの確認を行っています。



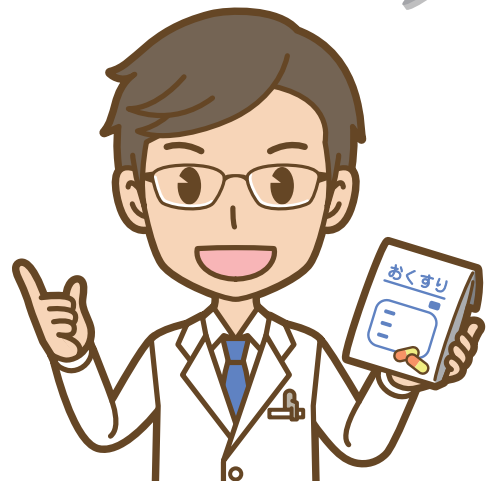
## 注射薬の管理と混合調整業務

飲み薬と同様の確認を行っています。2剤以上の注射剤(点滴・抗がん剤など)を1本にまとめる作業を、無菌環境下で行います。その際、注射剤同士の配合変化や点滴する時間の確認も行っています。



## 患者さんの退院時

退院後の生活に合わせた使用(飲み方、服用時間等)ができるよう、おくすりの説明をしています。次回来院する日まで間に合う分のおくすりがあるか確認を行います。効果や飲み方(使用方法)、起こり得る副作用とその対処法について、再度説明を行っています。





お知らせ

8月31日(土)

# 第15回 エキサイ健康講座

場所 小樽市民センター(マリンホール)

## 小樽掖済会病院 認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・JSPEN 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・JCNT 日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設

## 施設概要

開設年月日 昭和19年4月1日

管理者 向谷 充宏

病床数 138床

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階

駐車場 敷地内駐車場48台(福祉車両専用含む)

## アクセス

所在地 〒047-0032  
北海道小樽市稲穂1丁目4番1号

TEL 0134-24-0325

FAX 0134-24-0326

交通機関 JR小樽駅より徒歩5分  
中央バス各線バス停まで徒歩3分

## 診療科科目

- ・内科
- ・消化器内科
- ・胃腸内科
- ・肝臓内科
- ・外科
- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・肛門外科
- ・麻酔科
- ・整形外科(休診中)



★札幌よりJR利用快速列車約30分でJR小樽駅着



日本医療機能評価機構  
認定第JC2292号

